

シンポジウム 熊本県沿岸域再生の現状と展望

～研究集大成「八代海再生へのシナリオ」刊行の報告と討論会～

プログラム (案)

日時：令和元年8月19日13時 場所：熊本県立劇場

共 催：NPO 法人みらい有明不知火/熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム/
熊本県測量設計コンサルタンツ協会予定・ほか検討中
実行委員会：熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム企画運営委員会

13:15 開会 あいさつ

○NPO 法人みらい有明不知火理事長 滝川清氏

○熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム 議長 崎元達郎氏

◆1部 出版報告

13:25 「八代海再生へのシナリオ」出版報告

NPO 法人みらい有明不知火理事長

滝川清 (国立大学法人 熊本大学・名誉教授 / 工学博士)

NPO 法人みらい有明不知火理事

川岸寛氏 (技術士 (建設部門))

14:15 休憩 (10分)

◆2部 討論会：パネルディスカッション

14:25 『熊本県沿岸域再生の現状と展望』

○コーディネーター

「シンポジウムのねらいと海の再生について (仮題)」

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム顧問

古川 恵太氏

(東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進PT長)

国立大学法人 横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター・元客員教授)

○取り組み事例発表者

『熊本県の取り組み』

熊本県 環境生活部 環境局 環境立県推進課

『環境省の取組』

環境省九州地方環境事務所・環境対策課

『海洋環境整備船「海輝」「海煌」の取り組みについて (仮題)』

国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所

『国土交通省の取組について』

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

◆有明海エリア

『取り組みの紹介』

熊本県立岱志高等学校理科部

『取り組みの紹介』

荒尾市環境保全課

◆八代海エリア

『アマモ場造成に向けた農業気象学の役割～

芦北高校林業科アマモ班との連携で始まる取組例』

株式会社 アグリライト研究所

『干潟生物調査を通じた環境教育と地域興し』

ひのくにベントス研究所

16:30 閉会